

令和2年度 公共事業事後評価（農業農村整備事業）

県営かんがい排水事業（一般型） 寺谷上流地区

経済産業部 農地局 農地整備課

1 位置図／事業概要／事業の目的・必要性

位置図



事業概要

施工箇所：磐田市
受益面積：186.8ha（受益戸数760戸）
工期：平成8年度～平成26年度
事業費：3,575百万円
事業内容：用水路工（パイプライン）
L=55,980m

事業の目的・必要性

- 基幹用水路
 - ・国営天竜川下流用水（S42～S60）
 - ・県営天竜川下流地区（S45～H8）
- 末端用水路（本事業対象）
 - ・県営天竜東第2期地区（S44～S53）
（用排兼用の開水路）
 - ・営農への影響
老朽化に伴う漏水等による用水不足
計画的な水管理に支障
- 整備の目的・必要性
 - ・開水路をパイプライン化
安定した農業用水が確保
計画的な水管理による営農の合理化

2 施設の利用状況や被害軽減効果 等

	事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果 等
前回	3,300百万円	平成8年度～平成26年度	作物生産効果、営農経費節減効果 年総効果額：127,438千円
事後	3,575百万円	平成8年度～平成26年度	作物生産効果、営農経費節減効果 年総効果額：168,456千円
差	275百万円 (8.3%増)	計画どおり	作物生産効果：30,942千円 営農経費節減効果：10,076千円 年総効果額：41,018千円(32.2%増)

○事業費＜事業費増高の理由＞

- ・前回：上流部をパイプライン化
- ・事後：全域をパイプライン化

(理由)維持管理労力の更なる軽減
農地集積の加速化を推進

○施設の利用状況や被害軽減効果 等

開水路(S44～S53)

- ・老朽化に伴う漏水
- ・慢性的な用水不足



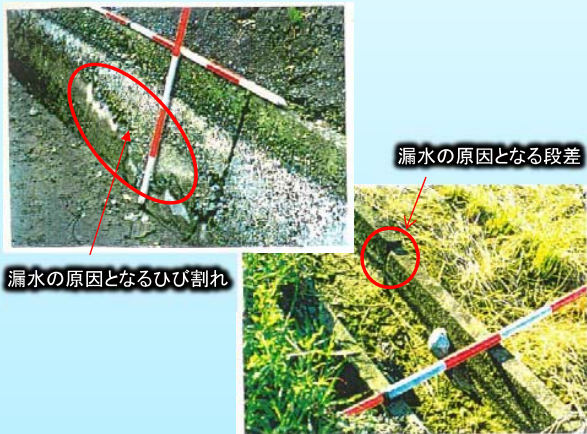
パイプライン化(本事業)

- ・安定した農業用水の確保と計画的な水管理
⇒作物生産効果：生産量の向上
- ・水路内の土砂排除が不要
⇒維持管理費節減効果：労力の軽減

2 事業の効果等

作物生産効果 (水稻)

用水管理(整備前)の開水路状況



生産量の向上



営農経費節減効果 (用水施設)



労力の軽減



3 事業実施による環境の変化

大規模水田経営体による営農



歩行2条式による田植え



乗用10条式による田植え

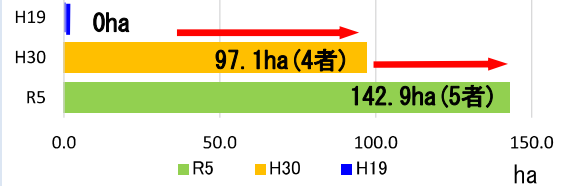
大規模経営体地区の参入

(事例)「土屋ライス」
従業員他4人
水稻25ha、露地野菜2ha等
H30販売額3千5百万円

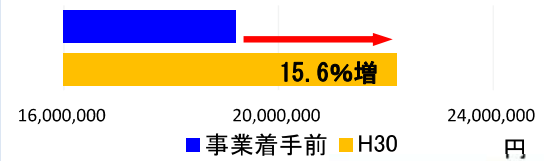


高収益作物の栽培 (にんじん)

認定農業者の経営面積



認定農業者 (A氏) の収益



代表的な担い手農家への聞取り

農村生活環境の変化



水路の草刈り



排水路の土砂上げ



さつまいもの収穫体験



草木染めを行うバンダー

ふじのくに美農里プロジェクト活動組織「岩田故郷の会」の活動 (H24年度～)

4 社会経済情勢等の変化

多様な経営を行う経営体による営農

多様な営農を行う企業的経営体の状況

(株)パシオス

H21就農
従業員他33人
キャベツ40ha等
H30販売額: 1億9千万円
H29中日農業賞
農林水産大臣賞受賞

(有)グリーンフィールド浜松

H15就農
従業員他27人
ブロッコリー28ha等
H30販売額1億2千万円

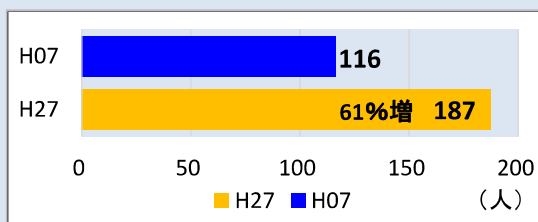
きとう農園

H28就農
従業員数名
有機野菜約50種類・
惣菜店経営



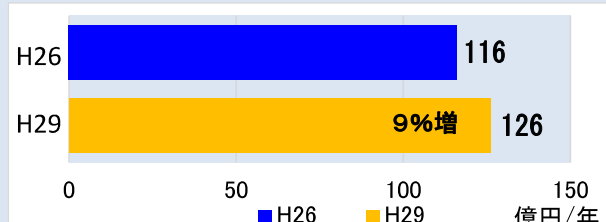
(株)パシオスの営農状況
キャベツ栽培

経営面積3ha以上の販売農家数 (磐田市)



参照: 農林業センサス1995/2015

農業産出額 (磐田市)



参照: 市町村別農業産出額 (推計) ※H26～

5 対応方針（案）

評価結果

- パイプラインの整備により生産量、品質が向上するとともに、営農労力が節減
- 地区内及び周辺地域の担い手農家へ農地集積、規模拡大が進展
- 多様な営農を行う経営体が誕生するなど特色ある営農により発展



事業効果は発現しており改善措置の必要はない

今後の課題等

下記施策による更なる農業生産性の向上を要する

- 人・農地プラン作成や農地中間管理事業による担い手農家への農地集積の加速化
- 暗渠排水や水田ICT等の省力化技術の導入
- 多様な営農を行う企業の経営体との連携による更なる農業生産性の向上

同種事業への反映等

- 天竜川水系の周辺地域においても用水施設の整備を推進
- ほ場の大区画化や暗渠排水整備、水田ICT等の省力化技術の導入
- 効率的で効果的な営農による農業生産性の向上